

税金がつくる日常

上越市立城北中学校 二年

辻 茉 桜

「千円に消費税百円で、商品のお値段は千百円になります。」

いつもの買い物時の様子です。私は、この時いつも「どうして千円の商品なのに、余分に百円払わないといけないのだろう。」と、感じていました。しかも、お家の人に聞いたら三%、五%、十%と消費税は上げられていっていると、言っていました。これらのことから、どうしてこんなに消費税が必要なんだろうと考えました。

そこで、小学校の教科書や資料集、兄が使っていた中学校の問題集で税金について調べてみました。

税金は、国や地方公共団体が、国民や住民から集めるお金であり、国民には、納める義務があります。税金の仕組みには、さらに、国に納める国税があり、それには、直接税と間接税があることが確認できました。国税と地方税で集められた税金は、お年寄りや障害のある人のための福祉や、平等に教育を受けられるようにするためなど、私たちが健康で文化的な生活を送れるようにするために役立てられています。復習することで、こういったことを小学校で習っていたことを思い出しました。

さらに、中学校の問題集で調べてみました。累進課税という、所得・

財産が多いほど税率が高くなる仕組みがあり、お金をたくさん持っている人から税金を多くとり、少ない人からはあまりとらず、収入にあわせてできるだけ平等な負担でお金を集めるやり方があることが分かりました。また、社会保障制度という仕組みもあって、健康で文化的な生活を全ての人ができるように、社会福祉のためにたくさんのお金が使われていることも分かりました。

こうやって調べてみると、税金は私たちの生活の中のような大切なことのために使われていることが分かりました。

もし、税金がなければ、警察や救急車を呼ぶのにお金がかかります。また、これらの私たちの命や安全を守る仕事にかかる費用にも税金が使われているので、そういった仕事ができなくなる可能性がありそうです。

今までは、買い物の時、「なんで元々の値段より多くお金を払わないといけないのだろう。」と少し不満に思っていたこともありましたが、税金は国民のよりよい暮らしを支えている大切なものだと分かりました。自分が支払った税金は、決して無駄になんてなっておらず、自分もふくめた国民のために大事に使われていることも確認できました。だから、もう「なぜ高くなるの？」と不満に思わず、きちんと協力していきたいと思います。